

令和7年度 小平市立小平第六中学校 学校評価計画表									
学校教育目標 ○ 敬愛 ○ 勤勉 ○ 創造									
目指す学校像(ビジョン) 【目指す学校像】 ■(生徒)可能性を感じ主体的に活動して挑戦できる学校 ■(保護者)安心と信頼があり子供を通わせたい学校 ■(地域)地域や保護者、学校が協働し生徒の成長を支えていく地域とともに歩む学校 【目指す児童・生徒像】 ■自他を尊重し思いやりのある生徒(敬愛) ■最善を尽くし自分の行動に責任をもつ生徒(勤勉) ■他者との対話や協働を通してより価値あるものを創り出していく生徒(創造) 【目指す教員像】 ■生徒を慈しみ理解し、生徒の良さや能力を伸ばす教職員 ■日々研鑽に努め協働して磨き合う教職員 ■地域や保護者と共感し、対話しながら保護者や地域の信頼に応える教職員									
前年度までの学校経営上の成果と課題 【成果】■落ち着いた学校生活により、より良い学習への取り組み状況が見られた。■話し合い活動の充実によりマイナス発言がなくなり、居場所づくりにつながった。■不登校支援の充実。 【課題】■粘り強く学びに向かう姿勢。家庭学習の習慣化。■対話的協働的学びへの授業改善。■特別活動を充実させ居場所づくり絆づくりを推進。自発性や主体性の育成。■不登校対策。									
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標			成果指標		
学力向上	■生きる力(学習を考える力)の育成 ○粘り強く学びに向かう姿勢を育み、家庭学習の習慣化を図る。 ○対話的協働的な深い学びに向けての授業改善を図る。	・授業を大切にする生徒への働きかけと、くり返しドリル学習の機会を設ける。 ・宿題の配信やこだろくノートの利用を通して、粘り強い学習への取組と家庭学習の習慣化を促す。 ・(新)六中スタンダード(授業で大切にする5点)を教員が意識して授業づくりを進めるようにする。 ・デジタルを利用したこれからの学びについて研究を推進する。	学習支援ソフトを用いて、宿題を配信し、実施率と正答率を確認する。単元問題から定期考査に出題等をして確認できるようにし、生徒の意識や行動を向上させる。 ・(新)六中スタンダード授業状況自己チェック表で、自らの授業を振り返り、修正して新たな授業づくりを行う。 ・これからの学びについて考える研修会を実施し、授業に取り入れていく。	4	<授業状況自己チェック表(5教科のみ)>	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	60%
				3	①宿題配信実施率、正答率の確認レベル3以上	80%	3	(よくできている+だいたいできている)(%)	50%
				2	<校内アンケート> 「あてはまる+ややあてはまる」(%)	60%	2	「家庭では、家庭学習が習慣化してきている」	40%
				1	②「こだろくノートによりスケジュール管理や時間管理を通して生活習慣づくりを促進した。」①と②の平均	50%未満	1		30%未満
				4	<授業状況自己チェック表>	90%	4	<生徒授業評価アンケート達成率>	90%以上
健全育成(いじめ防止)	■生きる力(人を・自分を考える力)の育成 ○生徒の居場所づくり絆づくりを推進すると同時に、自発性や主体性を育む。 ○いじめ防止に向けて組織的な対応や不登校対応を推進する。	特別活動や生徒会活動を充実させる。話し合い活動の充実を図り、集団の中で認められる経験をさせる。達成感や成就感を感じる活動の工夫を行う。ボランティア活動を通して自発性や主体性を育む。 居場所づくり絆づくりを推進し、いじめの未然防止に資する。組織的な対応によりいじめの早期発見、早期対応を行う。不登校対応特別委員会を設置し、各学年の不登校生徒への理解と支援を進める。	自他の意見を尊重し、折り合いをつけ合意形成を図る経験をさせる。学校行事等で、生徒自らが役割を果たし、集団の中で認められる経験をさせる。ボランティア活動の企画運営実践をさせる。 企画会2部としていじめ問題対策委員会を毎週実施し、いじめについての学年対応などを話し合う。不登校生徒のそれぞれの事情を考慮し、個に応じた適切な不登校対応を各学年で行う。	4	<校内アンケート> 「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	60%以上
				3	「学校は、学級活動(話し合い活動)や行事、生徒会・委員会活動を通して、生徒の主体的に社会形成へ参画できる能力や態度を育成することができた。」	80%	3	(よくできている+だいたいできている)(%)	50%
				2		60%	2	「学校は生徒同士協力して、よりよく生活しようとする働きかけを行っている。」	40%
				1		50%未満	1		30%未満
				4	<校内アンケート> 「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
学校経営	■地域とともに歩む学校を目指す。 ○コミュニティ・スクール活動を推進する ○地域や保護者と連携協働し、生徒の成長を支える教育活動の充実を図る。	学校経営協議会を月1回実施し、地域の学校に期待することを踏まえ、その課題と解決に向けての熟議を重ね、具体的取組を提案できるようにする。 CSプロジェクト(学力向上、健全育成、キャリア教育)を現生徒の実態に合わせ検討し、より充実したものにする。学校の教育活動を積極的に情報発信し、地域住民や保護者の理解を促進する。	地域と連携したCSの活動により、学校の教育課題の解消に迫る。六中地区の小中で統一した取組により、中1ギャップの解消と家庭の教育力向上を図る。 CS推進委員会等でプロジェクトの内容を検討し実施する。教育活動をHPや学校メールなどにより発信する。地域施設(小平福祉園など)との連携協働のもと不登校学習支援を行う。	4	<校内アンケート> 「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
				3	「学校は、問題行動に対して、家庭や地域・関係諸機関との連携を密にし、早期発見・早期対応を図ることができた。」	80%	3	(よくできている+だいたいできている)(%)	60%
				2		60%	2	「学校は、生徒理解に努め、生徒や保護者から相談しやすい雰囲気作りを大切にして、課題に対応している。」	50%
				1		50%未満	1		40%未満
				4	<校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
キャリア教育	■人を考える・自分を考える力の育成 ○生き方を考えさせ、進路に向け主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。 ○生徒の地域の一員としての自覚と自己有用感を高める。	コミュニティ・スクールの特性を生かし、進路関係の取り組みにおいて地域の力を活用する(職業講話、ようこそ先輩、マナー講座、福祉体験)。 地域の方々との交流(CSプロジェクトの各活動、地域の活動など)を通し、地域の理解を図るとともに自己有用感を高め、自分が地域の一員であることを感じさせる。	伸ばす4つの力の確認と意識づけ(年度始めと学期終わりにキャリアパスポートを利用して意識づけと振り返り)を行う。講演会、職場体験、道徳授業等を通して生き方を考えさせる。 生徒のボランティア活動や地域行事(地域清掃活動、青少年対活動体験等)への参加を促進する。CSとの連携を図り、ボランティアとして生徒が参加しやすい枠組みを検討し実現していく。	4	①校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
				3	「CSとの連携を図り、放課後学習教室やボランティア活動等の実施を通して、地域と協働する取組を推進した。」②HPにて学校の教育活動を公開した月ごとの平均件数。30回(100%)15回(50%) ①と②の平均	80%	3	(よくできている+だいたいできている)(%)	60%
				2		60%	2	「学校は、生徒の自己実現達成のため3年間を通して、進路指導を行っている。」	50%
				1		50%未満	1		40%未満
				4	①校内アンケート「あてはまる+ややあてはまる」(%)	90%	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
防災教育	■安心安全な教育環境整備 ○災害発生時に自他を守る知識・技能の習得を図る。 ○安全な学校生活と教育環境の整備を推進する。	・毎月、全教職員で校内を点検し、小平市教育委員会施設担当と連携を密に図ることで補修必要箇所の修繕を行う。 ・「自助」「共助」「公助」の観点から生徒の防災に関する知識・技能を高める。	・避難訓練の適切な実施。 ・災害に対する意識を高めるため、防災教育を道徳、総合的な学習の時間を活用し適宜実施する。	4	①安全・防災に関する指導の実施回数(毎月1回を予定、8月を除く)。	13以上	4	<保護者・地域アンケート達成率>	70%以上
				3	②避難訓練時の避難完了時間(分)。5分未満→ 4 、6分未満→ 3 、7分未満→ 2 、7分以上→ 1 とし、その平均数。 ①と②の合計。	10以上	3	(よくできている+だいたいできている)(%)	60%
				2		7以上	2	「学校は、避難訓練や防災教育を通して、緊急時の意識を高め、対応に備えようとしている。」	50%
				1		5以下	1		40%未満
				4	○校内研修、企画委員会等で管理職からの教職員の超過勤務時間削減に関する啓発・指導の回数並びに服務関係研修など実施の合計。	8回	4	週あたり在校時間80時間以内の達成率(%)	70%以上
働き方改革	■勤務時間管理と健康管理を意識した働き方の推進 ○育児休業取得推進 ○服務尊守	・年休を取りやすい雰囲気の醸成と組織的指導体制づくり。 ・育児休業の意義について周知する。	・長時間勤務者への面接指導実施。 ・同僚性を高め助け合う雰囲気を醸成し年休等取りやすい体制づくりを行う。 ・自分事として捉える服務防止研修の実施し、チェックシートで確認する。	3		6回	3		60%
				2		4回	2		50%
				1		2回	1		40%未満
				4					